

【全訳】

タクヤ、マキ、ケン、スマレは高校生です。アレックスはアメリカ出身の彼らのクラスメートで、ウィルソン先生は彼らの英語の先生です。彼らはみな教室で話しているところです。

タクヤ：ウィルソン先生、ほくは質問があります。ほくは学校以外で英語をどのように勉強するべきでしょうか。ほくの夢は海外でサッカーをすることなので、ほくは自分の英語を上達させたいんです。

ウィルソン先生：それはよい質問だけど、実は答えるのがそれほど簡単ではないわ。言語を学ぶ異なった方法がたくさんあるの。ある人は1つの方法がよいと思うかもしれないけれど、別の人は同じ意見ではないかもしれないのよ。では、言語を学ぶ方法についてみんなで話しましょう。マキ、あなたは家で英語を勉強するためにふだん何をするの？

マキ：私は図書館から英語の本を借りて、それを読みます。難しい本は読めませんが、やさしい英語で書かれていてたくさん絵の入った本があります。このような本はより簡単に理解できて、楽しむことができます。ときどき本で知らない単語を見たら、私は辞書を使いそれらを覚えようとします。

ウィルソン先生：それはいいわね。マキ、私はあなたが英語で読むのが得意だと思っていたの。今、その理由がわかったわ。

マキ：ありがとうございます。ええと、実は、私は自分がやさしい英語をよく理解できると思っていました。でも、先日、外国の男性に駅の近くで道をたずねられたのですが、私はまったく答えることができませんでした。悲しかったです。

ウィルソン先生：なるほど、でも心配ないわ。あなた1人だけではないの。外国語で他人に何かを伝えるのはときにはとても難しいわ。(ア) その言語を使おうとすることが大切よ。間違えることを恐れるべきではないわ。

アレックス：ほくもそう思います。日本では、ほくは毎日日本語を使わなければなりません。日本語はほくににとってまだ難しいです。でも、ほくはいつも日本の人と日本語で話すようにしています。他の人と話していると知らない単語に出会うことがよくあるんです。そういう場合、ほくはその意味を友達にたずねます。それから、その単語を意識して使うようにします。これは、ほくの日本語を上達させるよい方法です。

タクヤ：きみの方法はほくにはよさそうだな。ほくのサッカーチームに何人か外国人がいるんだ。彼らに英語で話しかけてみるよ。でも、読書がほくの大好きなことというわけではないから、マキの方法はほくにってはよくないかもしれない。ほくは本より音楽のほうが好きだな。

ケン：それなら、英語の歌を使うのはどうかな？ ほくはよく自分の大好きな歌の歌詞を読むよ。歌詞の意味を理解したあとだと大好きな歌がよりすばらしく聞こえるんだ。これはほくの英語を上達させるのにも役に立つと思うよ。ほくはときどきインターネットで大好きなミュージシャンについての記事も読むんだ。多くの記事は英語で書かれているけど、そのミュージシャンについての情報がたくさん得られるから、それを楽しめるよ。

タクヤ：おもしろそうだね。記事を読むのはほくにはまだ難しいけど、たぶん歌詞を試すことはできそうだな。ほくの兄[弟]は英語の歌が大好きでたくさんCDを持っているよ。兄[弟]は何枚かほくに貸してくれると思う。英語の歌をいくつか歌ってみたいいな。

スマレ：私は、Eメールを書くのが英語を勉強するもう1つのよい方法だと思うわ。私には外国に友達何人かいて、私たちは互いにEメールを書き合うのよ。彼女たちはみな上手な英語を使うから、彼女たちのEメールは英語について私をとても助けてくれる。私がEメールで間違いをすると、彼女たちはそのことを私に教えてくれたりもするわ。

タクヤ：おもしろいね！ きみたちそれぞれが異なった方法を持っていて、きみたちはみな英語を学ぶのを楽しんでいるんだね。

ウィルソン先生：そうね。それが大切なよ。英語を上達させるためにはそれをたくさん使う必要があるの。でも、もしそれを学ぶのが楽しくなかったら、持続させることができないわ。タクヤ、あなたはそれらの方法から2つか3つを選んで、それを試してみてはどう？

タクヤ：そうします。ほくはこの2つの方法を試すことに決めました。今それをノートに書きますね。

タクヤは自分のノートに何かを書き、それをウィルソン先生に見せます。

ウィルソン先生：いいわね。この2つの方法を続けるとよいと思うわ。さて、もう1つアドバイスをあげるわね。人々は言語を学ぶために4つの技能があると言うわ。それは、聞く、読む、話す、書く技能よ。もしあなたがその2つの方法を続けられれば、それらの技能のうちの3つを上達させることができる。もしスマレの方法も使えば、残りの1つの技能を上達させることができるわ。

タクヤ：アドバイスをありがとうございます。それについて考えます。